

## 細江カトリック教会だより

8月号

〒750-0016 下関市細江町1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

## さよならのことば

この4ヶ月の間に色々な経験のおかげで細江カトリック教会と知り合いです。しかし光陰矢の如しで別れの時間が参ります。

英語には「別れ」を表す表現がいくつかあります。

一つ目は、**See you**。これは英語教室でよく使いますね。この言い回しの意味は日本語の「じゃ、また」と同じです。それを言うとき、「私たちはまた会うことができますね」ということを意味します。

二つ目は、**Farewell**。これはイギリスでもよく使われています。これは、「あなたがよい道を歩くことができますように」を意味します。

最後に、**Goodbye**。これは、**God be with you** が略されたものです。それは、「神さまがあなたと一緒にいますように」ということを意味します。ですから「別れ」の言葉は悲しい言葉ではないのです。この別れに、色々な別れのたびにこの言葉を思い出しましょう。

「神さまがみなさんと一緒にいますように」。

Fr.Edward Joseph T.Magtoto,SJ

天使幼稚園英語教室で、普段にない神父さまの楽しそうな笑顔がいっぱい。私たち大人も、ゆっくりと学びたかった。残念！



\*希望は、神から約束された未来に向かって、新しいものを作り出す。



## 小崎次郎神父さま追悼ミサ 7/6 (金)

## 地区だより IV



小崎神父様、小崎神父様 とお呼びすれば、はい、あー菊野さん久しぶり、と親しく、むかえいれてくださるような、そんな気がします。違う世界、遠くの世界に行かれているとは、とても思えません。細江におられた3年間に私ども夫婦は、神父様の毎週のお説教の日本語をチェックする役目を承りました。10分を越えてはいけないとの鉄則を守り通されました。どこで習得されたのか、的確で見事な日本語表現に、驚かされました。丁寧に語りかけてくださいました。主とともにミサを大切に捧げておられることが、その所作の美しさでも十分に伝わりました。ふと、茶道のお点前、おもてなしも心得ておられるようにも感じました。

町を歩く姿も「かっこいいなー」と背の低い私は羨ましく思いました。或る時、亀山公園の階段を上っておられる知り合いの日本人の神父様に私は声を掛けました。「お散歩ですか」。すると、その神父様は、ニコニコと振り返り、「ゆるしの秘跡をうけるところです」と先を上っておられる小崎神父様の背中を指して仰いました。え！神父様が「ゆるしの秘跡」をうけたい神父様、小崎神父様のいかにも温かいお人柄に納得し、心を打たれました。

菊野 清一氏の追悼ミサの弔辞より

山の田地区

先月の教会便りに作道神父さまが、「7月1日は、ペトロ岐部と187人の殉教者の祝日」とお書きになった。

その日の新聞に、「潜伏キリシタン世界遺産登録」の記事が記載されていて、その記事から必然的に、背景にあるキリシタン迫害の歴史に思いを馳せました。

現在の日本で私たちキリスト者が、殉教か棄教かといった、生死を分ける二者択一を迫られる事はありません。それだけに当時のキリスト者が、女性や子供を含めて、想像を絶する迫害の中で、信仰を守り抜いたその原動力は何だったのか、人間の意志だけで乗り越えられるものではなかったでしょう。この人たちの揺るぎない信仰に、聖霊の賜物である救い主の愛と、必要な力が与えられたのだと考えられます。

制約や圧力は好ましいものではありませんが、反面で弱い人間に強靱な精神力をもたらすこともあり、逆に無風状態の「平和」が、抵抗力のない身心にひ弱な人間を産むことも、あるのではないのでしょうか。

そういう私自身、今現在は有難いことに、差し迫った悩みことはないのですが、キリスト者としての日々の祈りが観念的になり、物事に対してはその場しのぎになっている状態に、愕然としていました。

人はやはり、いつもある程度の緊張感を持つべきではないかと、近頃しみじみ感じます。小さな存在のひとりとして、それなりに御心に適う日々を過ごしたいと願いながら、無気力になりがちな自分に対し、どうぞこの萎えた心に、信心の火を燃え立たせてくださるようにと、憐れみ深い主に、お力をこう毎日です。

森 正子

## 社会教説宿泊研修会

今年も社会教説宿泊研修が、7月14日、15日と行われました。

広島からの参加者が豪雨災害のためおいでになられなかった反面、初めての方々も交えて、光延神父様の講演のDVDを基調に、平和とわたしたちについて様々な意見交換がなされました。

真福八端には「平和のために働く人は幸い」とあります。「平和な人」が幸いなのではなく、わたしたちが平和のためにどのように働けるのか、が改めて問われるような気がしました。

稲垣 優美子

## 司教公式訪問 7/22 (日)



\* 教会に来たら、今までの行いをイエスさまに報告してください。・  
心の疲れた者、重荷を負う者は休ませてあげよう。。。

### 堅信式を受けて・・・

\* 国内の今年の夏は例年にも増して厳しく、熱中症に搬送の方も多量中、白浜司教様が津和野の殉教者の列福のお願いのため、ローマから帰国されて直ぐに、細江教会の公式訪問をされました。白浜司教様は実に細やかに、分かりやすく堅信式について説明をしてくださいました。

ミサの中で、私たち4名の「堅信式」が行われ、式の意味と重要性を再確認し、洗礼と堅信のための勉強会がどんなに信者として幸せで、至福の時間であったかを思い出します。

作道神父さまの堅信講座も分かりやすく講義をしてくださいました。

2018年のこの日が忘れられない日になりました。代母さんは、堅信式の時、私の肩に手を置き見守っていただき、また日頃の社会問題について意見交換し、信仰上の事も相談に乗ってくださいます。

神さま、聖霊に守られていることを実感できました。後は、信徒の皆様聞いて、一步一步階段を登って細江カトリック教会が、今まで通り温かい元気な教会であり続けることを願って、自分ができることをしていきます。

これからもよろしくお祈りします。

フランシスカ 稲田 鏡子



\* 堅信を無事に終えることができました。

初めて細江教会と出会ったのは、小学1年の時でした。

その後、いつか通える日が来るのを待ちわびておりました。すっかり間が空きましたが、長年の夢が叶いました。

色々な方々に支えられ、助けられ、手解きを受け、今日があります。心の奥より、じわじわ湧き出る喜びや感動をうまく表現できませんが、皆様より授かった、思いやり、親切に感謝し、心に受け止めて繋げていきたいと思っております。

皆様、本当にありがとうございました。

マリア 竹本 富子

## 教会学校お泊り会 7/22～7/23



\*今年の三教会合同サマーキャンプは、「神さまと出会う！」をテーマに、この場面で、子どもたちは神さまを感じたのでしょうか。

共に学び、共に遊び、共にお風呂に入り、そして長府教会の夕涼み会に合流し、若いも若きも共に食事して、真夏の夜を楽しみました。

そして、一日の感謝をお祈りして、共に床に就きました。夢の中で神さまに出会ったかもしれませんね。

リーダーとして、子どもたちに常に神さまを感じれるお手伝いのできたらいいな～と思っています。

長府教会 赤波江 涼子



\*『あしあと』の詩のように、神さまはいつも私たちの傍にいて見守ってくれています。自分がひとりぼっちのように感じてしまうときに、キャンプで歌った『たとえば私が』を思い出して欲しいです。周りをよく見てみてください。私たちはみんな兄弟姉妹です。手を取り合って生きていきましょう！

小村 香織

## 編集後記

- ・教会学校の子どもたちを応援してください。細江は5名の参加でした。
- ・皆さまの投稿、感想に感謝します。
- ・聖体奉仕者の感想文は次号に掲載。
- ・教会のことをお知らせしたくて、記事を載せています。見てください。

## ちいさな生命

POEM

お母さんになる人って  
どうしてきれいなんだろう？  
それはね、お腹にちいさな  
ちいさな天使がいるからだよ、  
お母さんに早く会いたいな～って。

先日、お友達でもうすぐお母さんになる方に会って来ました。そのとき、とても嬉しかったので詩にしました。

妊婦さんのお腹にさわらせてもらいました。幸せになれるように。

藤本 幸枝



## 平和・平和・平和

戦争がもたらすもの・・・と、フランシスコ教皇さまは、『焼き場に立つ少年』のカードを広く頒布するよう指示されました。このカードは教会の聖堂入口に置いています。

「平和の問題に常に関心をしましょう」と、日本カトリック司教協議会から呼びかけられています。

自分の平安だけでなく、周りの人々に目を向けて、非力でも私たちにできることをしましょう。

イエスさまに力をいただいて・・・。

## 西日本豪雨災害



被災者のために

祈りと募金をお願いします。

## \*祈り\*

西日本豪雨に伴って突然いのちを奪われた方々を顧み、永遠の慰めを与えください。また、すべての被災者には、必要な助けと困難を乗り越える勇気を与えてください。